

厚生労働省
群馬労働局発表
令和8年4月28日

【照会先】
群馬労働局労働基準部健康安全課
課長 鈴木 淳
主任地方産業安全専門官 木村 正義
(電話) 027-896-4736

報道関係者 各位

令和7年の労働災害発生状況等を公表します

－ 死傷者数は前年比で94人減少（うち死亡者数は前年比で同数の16人）－

群馬労働局（局長 ^{うえのやすひろ}上野康博）は、令和7年（確定値）及び令和8年（3月末速報値）の休業4日以上^{（労働災害発生状況）}の労働災害発生状況を取りまとめましたので公表します。

【労働災害発生状況の概要】

1 令和7年 労働災害発生状況（確定値）

(1) **死傷者数 2,552人** 前年比 **94人 (3.6%) 減少**

《 前年と比較した主な特徴 》

① 業種別

- ・死傷者数の多い主な業種
製造業 745人、商業 423人、運輸交通業 320人、保健衛生業 297人
- ・死傷者数の増加した主な業種
商業 70人 (19.8%) 増加
- ・死傷者数の減少した主な業種
製造業 43人 (5.5%)、運輸交通業 38人 (10.6%) 減少

② 事故の型別

- ・死傷者数の多い主な事故の型
「転倒」717人、「動作の反動・無理な動作」403人、「墜落・転落」359人
- ・死傷者数の増加した主な事故の型
「転倒」51人 (7.7%) 増加
- ・死傷者数の減少した主な事故の型
「動作の反動・無理な動作」52人 (11.4%)、「墜落・転落」39人 (9.8%)、
「交通事故（道路）」25人 (21.4%) 減少

(2) **死亡者数 16人** 前年比 **+-0人 同数**

《 前年と比較した主な特徴 》

① 業種別

- ・死亡者数の多い業種
製造業 4人（前年 1人）、畜産業 2人（前年 0人）、接客娯楽業 2人（前年 1人）、清掃業 2人（前年 1人）、運輸交通業 2人（前年 6人）
- ・死亡者数の増加した業種
製造業（前年 1人→4人）などで増加
- ・死亡者数の減少した主な業種
建設業（前年 6人→0人）、運輸交通業（前年 6人→2人）で減少

（次ページに続く）

② 事故の型別

- ・死亡者数の多い事故の型
「墜落・転落」5人、「交通事故」4人、「激突され」3人

2 令和8年 労働災害発生状況（令和8年3月末日現在（速報値））

※ 死亡者数については、本日時点で把握している人数を記載しています。...

- (1) 死傷者数 483人 前年同期比 49人（11.3%）増加
(2) 死亡者数 2人 前年同期比 十〇人

《 前年同期と比較した主な特徴 》

- ・死傷者数は増加、死亡者数は同数

業種別では、

社会福祉施設（前年25人→46人）、製造業（前年134人→144人）、

接客娯楽業（前年25人→33人）などで増加

小売業（前年55人→43人）、建設業（前年32人→30人）で減少

3 労働災害の推移

群馬労働局管内の労働災害による休業4日以上死傷者数は、昭和54年の6,325人をピークに長期的には減少しているものの、近年は2,000人台で増減を繰り返し、令和2年からは増加傾向となっています。

また、死亡者数は令和4年に過去最少の6人となりましたが、令和5年は17人と大幅に増加し、令和6年、7年ともに16人となっています。

4 労働局の取組

群馬労働局では、労働災害の増加傾向に歯止めをかけ令和9年度までに減少傾向となるよう第14次労働災害防止計画に基づく推進計画（令和5年度～令和9年度）を策定し、労働災害が増加している高年齢労働者の労働災害防止対策などに重点を置きながら、労働災害防止対策を推進しています。

資料1 「群馬労働局管内における労働災害の推移」

資料2 「年別・事故の型別の労働災害発生件数」

資料3 「群馬労働局管内における労働災害発生状況」

資料4 「令和7年 労働者死傷病報告受理件数表」

資料5 「令和7年 死亡災害事例」

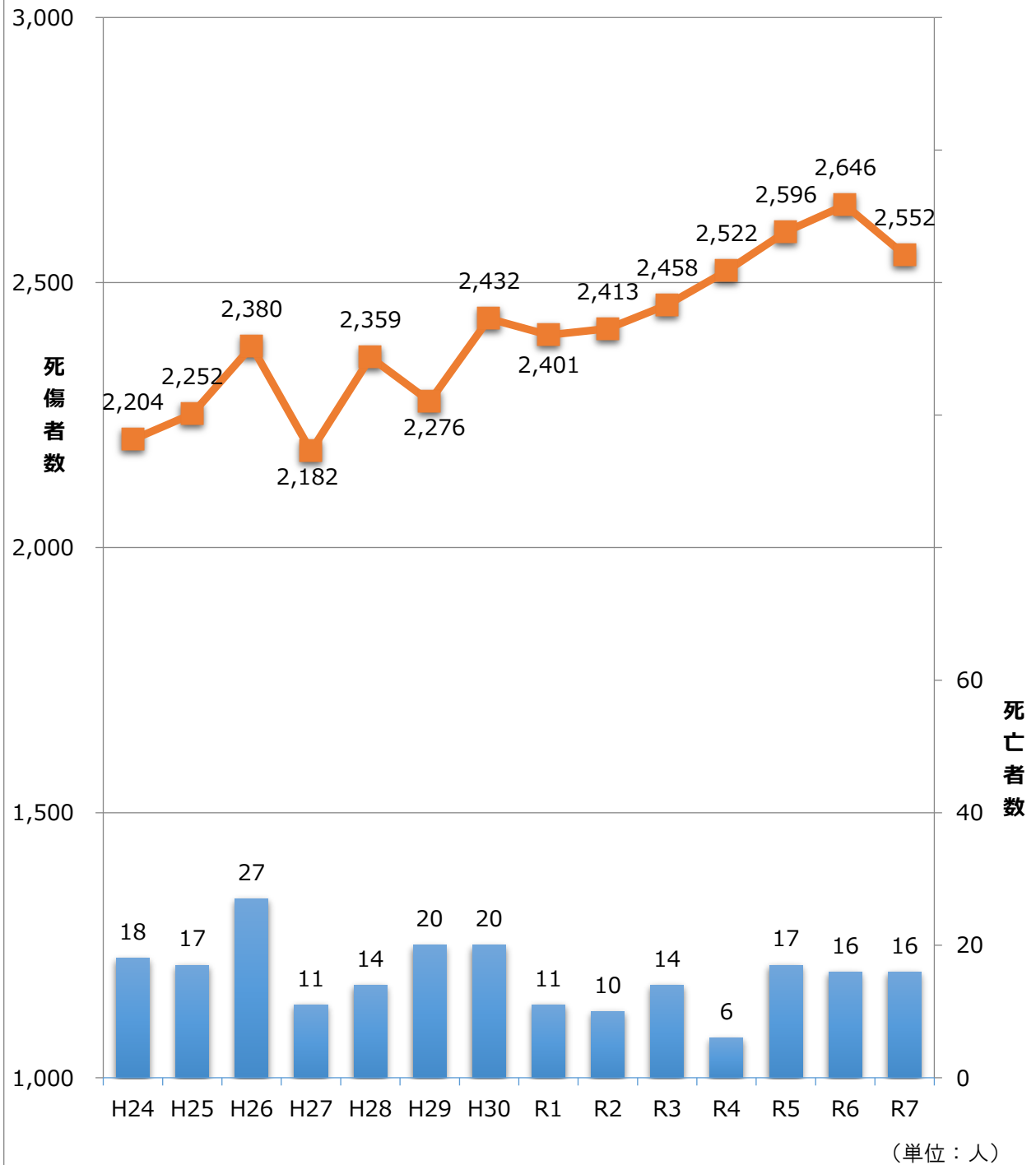
資料6 「令和8年 労働者死傷病報告受理件数表」

資料7 「令和8年 死亡災害事例」

資料8 「第14次労働災害防止計画に基づく群馬労働局推進計画の骨子」

群馬労働局管内における労働災害の推移

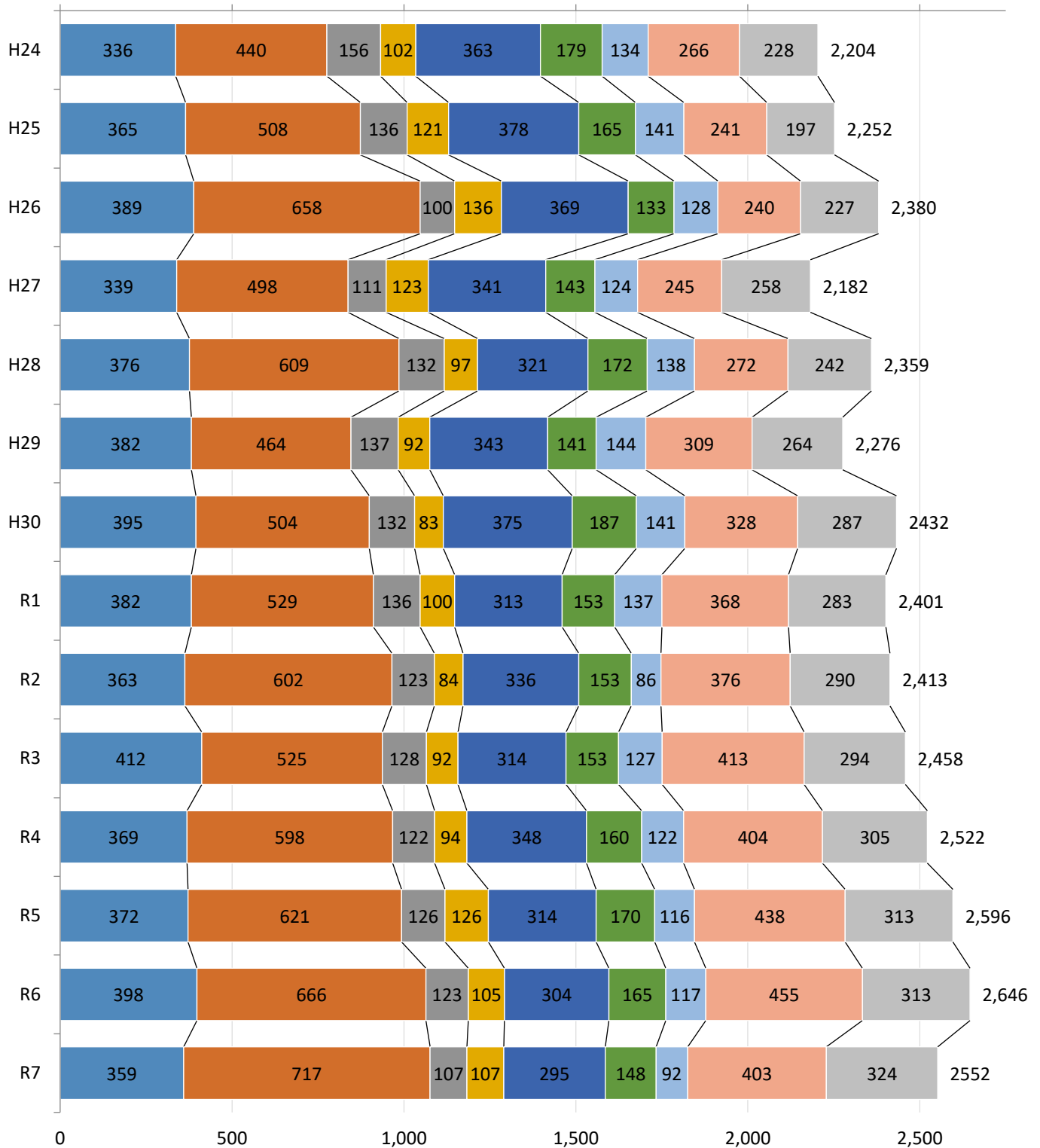
(新型コロナウイルス感染症を除く)



年別・事故の型別の労働災害発生件数

(新型コロナウイルス感染症を除く)

- 墜落・転落
- 転倒
- 飛来・落下
- 激突され
- はさまれ・巻き込まれ
- 切れ・こすれ
- 交通事故（道路）
- 動作の反動・無理な動作
- その他



群馬労働局管内における労働災害発生状況 (新型コロナウイルス感染症を除く)

1 業種別の状況

(1) 死傷者数が多い業種

業種別	死傷者数	前年	増減	前年比	業種に占める割合	全産業に占める割合
製造業	745	788	-43	-5.5%	100.0%	29.2%
食料品	230	250	-20	-8.0%	30.9%	9.0%
建設業	202	205	-3	-1.5%	100.0%	7.9%
建築工事	108	118	-10	-8.5%	53.5%	4.2%
運輸交通業	320	358	-38	-10.6%	100.0%	12.5%
道路貨物運送	303	343	-40	-11.7%	94.7%	11.9%
商業	423	353	70	19.8%	100.0%	16.6%
小売業	325	275	50	18.2%	76.8%	12.7%
保健衛生業	297	315	-18	-5.7%	100.0%	11.6%
社会福祉施設	209	234	-25	-10.7%	70.4%	8.2%
接客娯楽業	166	187	-21	-11.2%	100.0%	6.5%
飲食店	68	102	-34	-33.3%	41.0%	2.7%
その他	399	440	-41	-9.3%	100.0%	15.6%
合計	2,552	2,646	-94	-3.6%	100.0%	100.0%

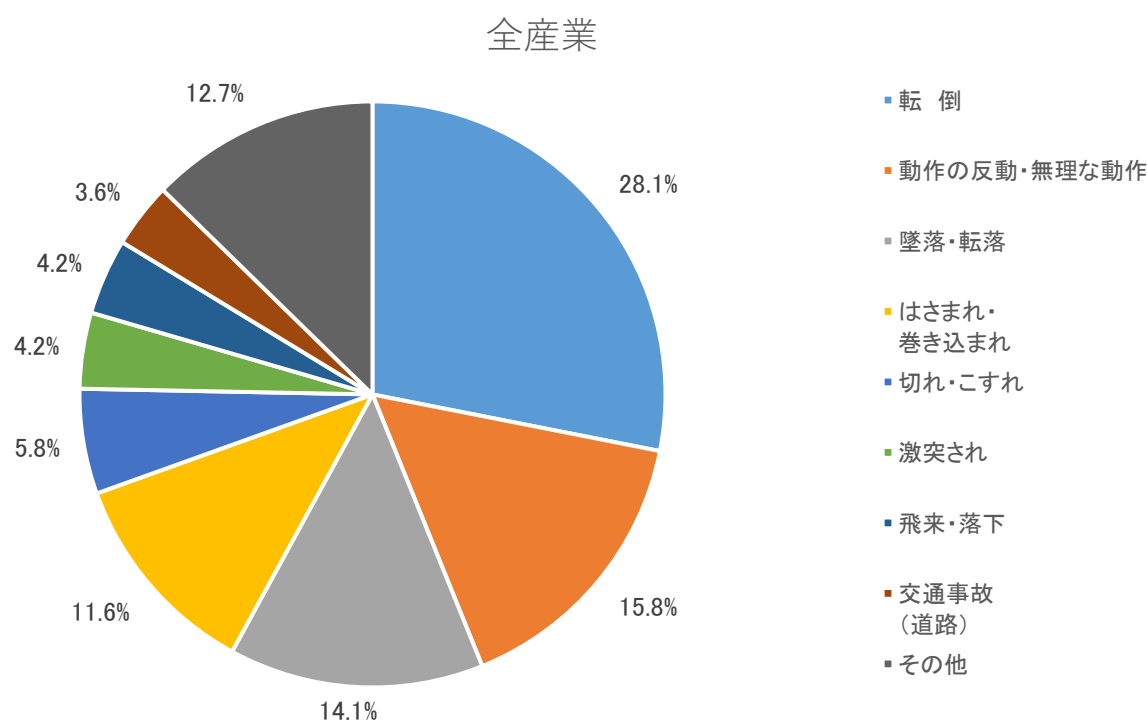
(2) 死亡災害発生状況

業種	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年
製造業	2	5	3	1	1	4
建設業	2	6	1	9	6	
運輸交通業	2	1		2	6	2
農林業	1		1	1		1
畜・水産業						2
商業	2			2	1	1
保健衛生業						
接客娯楽業					1	2
清掃・と畜業		1		1	1	2
その他	1	1	1	1		2
合計	10	14	6	17	16	16

2 事故の型別の状況

(1) 全産業

	転倒	動作の反動・無理な動作	墜落・転落	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	激突され	飛来・落下	交通事故(道路)	その他	合計
全産業	717	403	359	295	148	107	107	92	324	2,552
(内死亡)			(5)	(1)		(3)		(4)	(3)	(16)
割合	28.1%	15.8%	14.1%	11.6%	5.8%	4.2%	4.2%	3.6%	12.7%	100.0%
前年	666	455	398	304	165	105	123	117	313	2,646
増減数	51	-52	-39	-9	-17	2	-16	-25	11	-94
前年比	7.7%	-11.4%	-9.8%	-3.0%	-10.3%	1.9%	-13.0%	-21.4%	3.5%	-3.6%



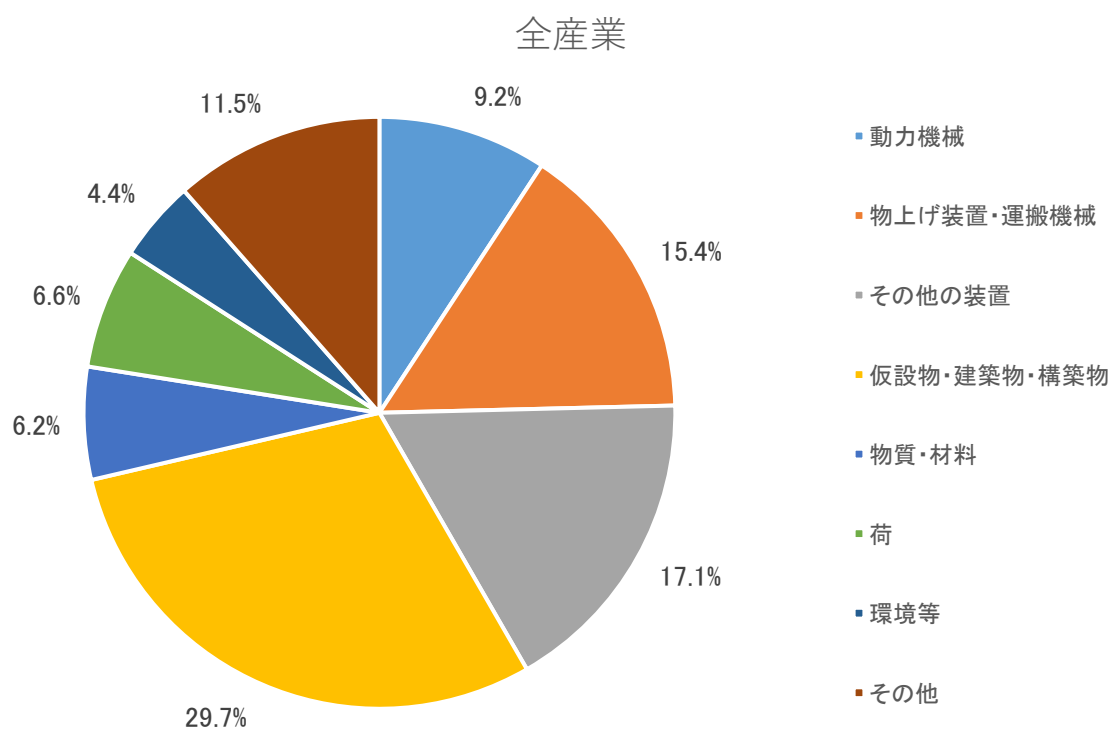
(2)死傷者数が多い業種

	転倒	動作の反動・無理な動作	墜落・転落	巻き込まれ	切れ・こすれ	激突され	飛来・落下	交通事故(道路)	その他	合計
製造業	178	90	57	170	68	37	45	2	98	745
割合	23.9%	12.1%	7.7%	22.8%	9.1%	5.0%	6.0%	0.3%	13.2%	100.0%
前年	168	115	71	167	79	36	41	6	105	788
前年比	6.0%	-21.7%	-19.7%	1.8%	-13.9%	2.8%	9.8%	-66.7%	-6.7%	-5.5%
食料品	82	20	15	41	22	8	10	1	31	230
割合	35.7%	8.7%	6.5%	17.8%	9.6%	3.5%	4.3%	0.4%	13.5%	100.0%
前年	71	30	19	46	26	8	9	1	40	250
前年比	15.5%	-33.3%	-21.1%	-10.9%	-15.4%	0.0%	11.1%	0.0%	-22.5%	-8.0%
建設業	18	16	61	25	17	6	20	4	35	202
割合	8.9%	7.9%	30.2%	12.4%	8.4%	3.0%	9.9%	2.0%	17.3%	100.0%
前年	30	19	66	22	14	9	17	8	20	205
前年比	-40.0%	-15.8%	-7.6%	13.6%	21.4%	-33.3%	17.6%	-50.0%	75.0%	-1.5%
建築業	11	11	37	13	5	4	13		14	108
割合	10.2%	10.2%	34.3%	12.0%	4.6%	3.7%	12.0%	0.0%	13.0%	100.0%
前年	16	12	45	11	8	2	9	4	11	118
前年比	-31.3%	-8.3%	-17.8%	18.2%	-37.5%	100.0%	44.4%	-100.0%	27.3%	-8.5%
運輸交通業	63	47	98	30	2	10	14	12	44	320
割合	19.7%	14.7%	30.6%	9.4%	0.6%	3.1%	4.4%	3.8%	13.8%	100.0%
前年	56	51	112	35	3	15	21	26	39	358
前年比	12.5%	-7.8%	-12.5%	-14.3%	-33.3%	-33.3%	-33.3%	-53.8%	12.8%	-10.6%
道路貨物	59	46	93	29	2	10	14	9	41	303
割合	19.5%	15.2%	30.7%	9.6%	0.7%	3.3%	4.6%	3.0%	13.5%	100.0%
前年	51	48	111	35	3	15	20	23	37	343
前年比	15.7%	-4.2%	-16.2%	-17.1%	-33.3%	-33.3%	-30.0%	-60.9%	10.8%	-11.7%
商業	137	95	48	29	20	14	13	37	30	423
割合	32.4%	22.5%	11.3%	6.9%	4.7%	3.3%	3.1%	8.7%	7.1%	100.0%
前年	121	62	35	20	24	7	14	36	34	353
前年比	13.2%	53.2%	37.1%	45.0%	-16.7%	100.0%	-7.1%	2.8%	-11.8%	19.8%
小売業	104	77	31	23	15	11	6	35	23	325
割合	32.0%	23.7%	9.5%	7.1%	4.6%	3.4%	1.8%	10.8%	7.1%	100.0%
前年	99	50	24	12	19	5	9	33	24	275
前年比	5.1%	54.0%	29.2%	91.7%	-21.1%	120.0%	-33.3%	6.1%	-4.2%	18.2%
保健衛生業	120	88	17	4	5	7	1	6	49	297
割合	40.4%	29.6%	5.7%	1.3%	1.7%	2.4%	0.3%	2.0%	16.5%	100.0%
前年	105	122	16	7	5	6	5	6	43	315
前年比	14.3%	-27.9%	6.3%	-42.9%	0.0%	16.7%	-80.0%	0.0%	14.0%	-5.7%
社会福祉	77	66	11	1	4	6	1	4	39	209
割合	36.8%	31.6%	5.3%	0.5%	1.9%	2.9%	0.5%	1.9%	18.7%	100.0%
前年	76	87	14	6	5	5	2	6	33	234
前年比	1.3%	-24.1%	-21.4%	-83.3%	-20.0%	20.0%	-50.0%	-33.3%	18.2%	-10.7%
接客娯楽業	72	18	19	8	14	3	4		28	166
割合	43.4%	10.8%	11.4%	4.8%	8.4%	1.8%	2.4%	0.0%	16.9%	100.0%
前年	66	29	15	6	21	4	3	4	39	187
前年比	9.1%	-37.9%	26.7%	33.3%	-33.3%	-25.0%	33.3%	-100.0%	-28.2%	-11.2%
飲食店	29	5	6	1	12	1	1		13	68
割合	42.6%	7.4%	8.8%	1.5%	17.6%	1.5%	1.5%	0.0%	19.1%	100.0%
前年	30	18	3	4	18	0	2	3	24	102
前年比	-3.3%	-72.2%	100.0%	-75.0%	-33.3%	#DIV/0!	-50.0%	-100.0%	-45.8%	-33.3%

3 起因物別の状況

(1) 全産業

	動力機械	置・物 機・上 運・装 搬・機	その 置 他の 装	仮 設 物 ・ 建 築 物 ・ 構 ・ 建	物 質 ・ 材 料	荷	環 境 等	そ の 他	合 計
全産業	236	392	436	757	157	168	113	293	2,552
(内死亡)	(1)	(5)	(2)	(2)			(5)	(1)	(16)
割合	9.2%	15.4%	17.1%	29.7%	6.2%	6.6%	4.4%	11.5%	100.0%
前年	253	492	536	655	196	165	120	229	2,646
増減数	-17	-100	-100	102	-39	3	-7	64	-94
前年比	-6.7%	-20.3%	-18.7%	15.6%	-19.9%	1.8%	-5.8%	27.9%	-3.6%



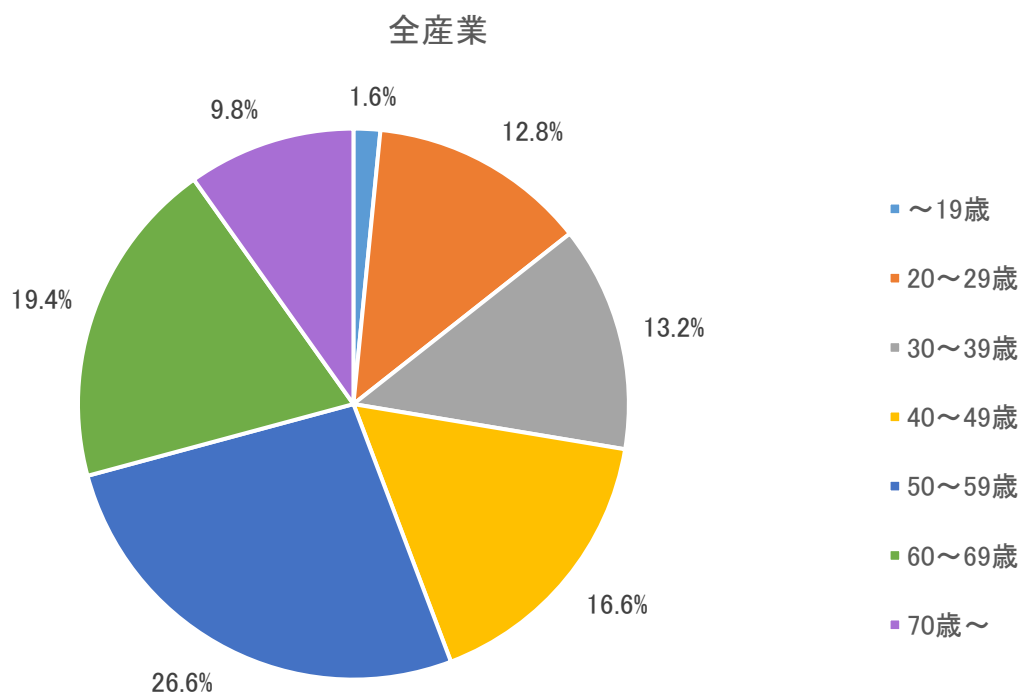
(2) 死傷者数が多い業種

	動力機械	置 物 ・ 運 搬 機 械 上 げ 装 置	そ の 他 の 装 置	仮 設 物 ・ 構 築 物 ・ 建 築	物 質 ・ 材 料	荷	環 境 等	そ の 他	合 計
製造業	156	74	129	188	89	52	14	43	745
割合	20.9%	9.9%	17.3%	25.2%	11.9%	7.0%	1.9%	5.8%	100.0%
前年	167	87	198	163	95	44	15	19	788
前年比	-6.6%	-14.9%	-34.8%	15.3%	-6.3%	18.2%	-6.7%	126.3%	-5.5%
食料品	33	19	44	88	14	18	5	9	230
割合	14.3%	8.3%	19.1%	38.3%	6.1%	7.8%	2.2%	3.9%	100.0%
前年	45	21	72	72	13	18	4	5	250
前年比	-26.7%	-9.5%	-38.9%	22.2%	7.7%	0.0%	25.0%	80.0%	-8.0%
建設業	32	26	35	53	25	5	20	6	202
割合	15.8%	12.9%	17.3%	26.2%	12.4%	2.5%	9.9%	3.0%	100.0%
前年	26	42	38	53	25	6	13	2	205
前年比	23.1%	-38.1%	-7.9%	0.0%	0.0%	-16.7%	53.8%	200.0%	-1.5%
建築業	16	10	19	37	14	3	5	4	108
割合	14.8%	9.3%	17.6%	34.3%	13.0%	2.8%	4.6%	3.7%	100.0%
前年	9	22	29	35	14	3	4	2	118
前年比	77.8%	-54.5%	-34.5%	5.7%	0.0%	0.0%	25.0%	100.0%	-8.5%
運輸交通業	4	127	47	73	12	26	12	19	320
割合	1.3%	39.7%	14.7%	22.8%	3.8%	8.1%	3.8%	5.9%	100.0%
前年	3	167	62	65	18	31	7	5	358
前年比	33.3%	-24.0%	-24.2%	12.3%	-33.3%	-16.1%	71.4%	280.0%	-10.6%
道路貨物	3	119	45	68	12	26	12	18	303
割合	1.0%	39.3%	14.9%	22.4%	4.0%	8.6%	4.0%	5.9%	100.0%
前年	2	163	61	57	17	31	7	5	343
前年比	50.0%	-27.0%	-26.2%	19.3%	-29.4%	-16.1%	71.4%	260.0%	-11.7%
商業	12	73	91	121	13	53	11	49	423
割合	2.8%	17.3%	21.5%	28.6%	3.1%	12.5%	2.6%	11.6%	100.0%
前年	11	70	82	97	21	46	9	17	353
前年比	9.1%	4.3%	11.0%	24.7%	-38.1%	15.2%	22.2%	188.2%	19.8%
小売業	7	53	76	94	8	42	8	37	325
割合	2.2%	16.3%	23.4%	28.9%	2.5%	12.9%	2.5%	11.4%	100.0%
前年	5	53	72	77	14	36	6	12	275
前年比	40.0%	0.0%	5.6%	22.1%	-42.9%	16.7%	33.3%	208.3%	18.2%
保健衛生業	1	12	35	109	1	4	4	131	297
割合	0.3%	4.0%	11.8%	36.7%	0.3%	1.3%	1.3%	44.1%	100.0%
前年	6	10	37	90	2	12	6	152	315
前年比	-83.3%	20.0%	-5.4%	21.1%	-50.0%	-66.7%	-33.3%	-13.8%	-5.7%
社会福祉	1	6	19	76	1	3		103	209
割合	0.5%	2.9%	9.1%	36.4%	0.5%	1.4%	0.0%	49.3%	100.0%
前年	4	9	25	67	1	6	4	118	234
前年比	-75.0%	-33.3%	-24.0%	13.4%	0.0%	-50.0%	-100.0%	-12.7%	-10.7%
接客娯楽業	5	6	29	80	10	11	14	11	166
割合	3.0%	3.6%	17.5%	48.2%	6.0%	6.6%	8.4%	6.6%	100.0%
前年	10	10	42	68	17	11	18	11	187
前年比	-50.0%	-40.0%	-31.0%	17.6%	-41.2%	0.0%	-22.2%	0.0%	-11.2%
飲食店	3		19	28	9	3	2	4	68
割合	4.4%	0.0%	27.9%	41.2%	13.2%	4.4%	2.9%	5.9%	100.0%
前年	5	4	31	30	14	7	7	4	102
前年比	-40.0%	-100.0%	-38.7%	-6.7%	-35.7%	-57.1%	-71.4%	0.0%	-33.3%

4 年齢別の状況

(1) 全産業

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳～	合計
全産業	40	327	338	424	678	494	251	2,552
(内死亡)		(1)		(6)	(2)	(4)	(3)	(16)
割合	1.6%	12.8%	13.2%	16.6%	26.6%	19.4%	9.8%	100.0%
前年	45	326	333	493	678	538	233	2,646
増減数	-5	1	5	-69	0	-44	18	-94
前年比	-11.1%	0.3%	1.5%	-14.0%	0.0%	-8.2%	7.7%	-3.6%



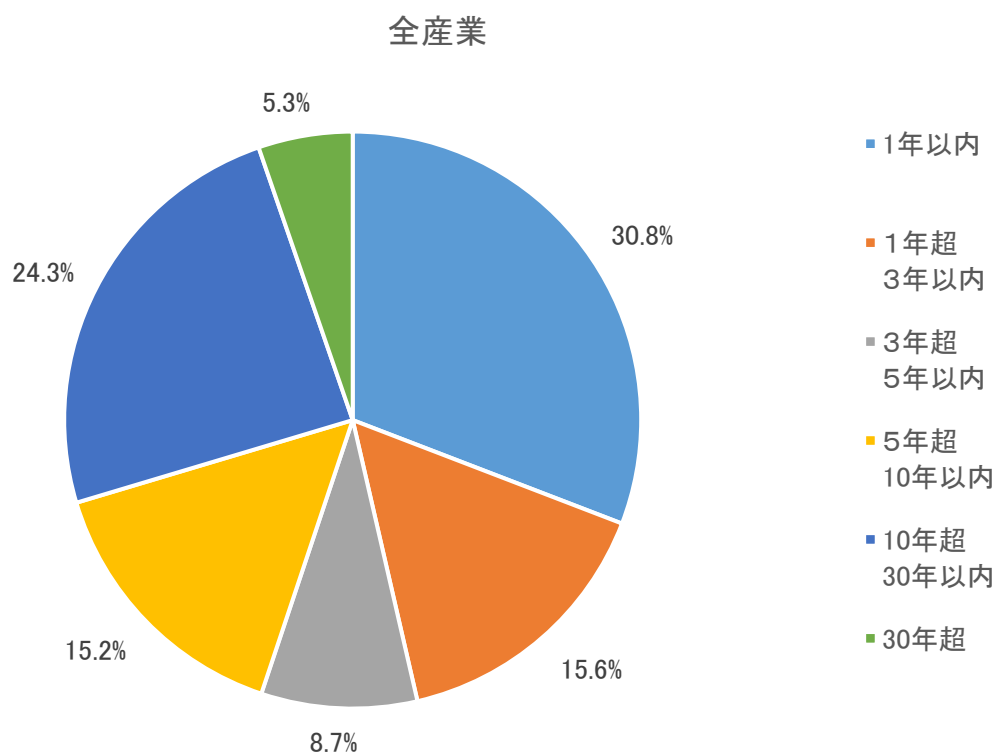
(2) 死傷者数が多い業種

	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	合計
製造業	11	134	126	133	186	110	45	745
割合	1.5%	18.0%	16.9%	17.9%	25.0%	14.8%	6.0%	100.0%
前年	13	129	116	153	186	138	53	788
前年比	-15.4%	3.9%	8.6%	-13.1%	0.0%	-20.3%	-15.1%	-5.5%
食料品	1	35	34	32	62	43	23	230
割合	0.4%	15.2%	14.8%	13.9%	27.0%	18.7%	10.0%	100.0%
前年	5	52	29	38	50	50	26	250
前年比	-80.0%	-32.7%	17.2%	-15.8%	24.0%	-14.0%	-11.5%	-8.0%
建設業	4	40	29	37	40	33	19	202
割合	2.0%	19.8%	14.4%	18.3%	19.8%	16.3%	9.4%	100.0%
前年	3	34	40	38	44	34	12	205
前年比	33.3%	17.6%	-27.5%	-2.6%	-9.1%	-2.9%	58.3%	-1.5%
建築業	3	30	20	20	18	12	5	108
割合	2.8%	27.8%	18.5%	18.5%	16.7%	11.1%	4.6%	100.0%
前年		21	27	21	24	19	6	118
前年比	#DIV/0!	42.9%	-25.9%	-4.8%	-25.0%	-36.8%	-16.7%	-8.5%
運輸交通業	2	22	37	59	130	53	17	320
割合	0.6%	6.9%	11.6%	18.4%	40.6%	16.6%	5.3%	100.0%
前年	2	23	36	94	129	63	11	358
前年比	0.0%	-4.3%	2.8%	-37.2%	0.8%	-15.9%	54.5%	-10.6%
道路貨物	2	21	33	59	125	50	13	303
割合	0.7%	6.9%	10.9%	19.5%	41.3%	16.5%	4.3%	100.0%
前年	2	21	35	87	127	61	10	343
前年比	0.0%	0.0%	-5.7%	-32.2%	-1.6%	-18.0%	30.0%	-11.7%
商業	10	47	39	73	122	95	37	423
割合	2.4%	11.1%	9.2%	17.3%	28.8%	22.5%	8.7%	100.0%
前年	4	39	30	54	99	89	38	353
前年比	150.0%	20.5%	30.0%	35.2%	23.2%	6.7%	-2.6%	19.8%
小売業	8	37	28	48	93	78	33	325
割合	2.5%	11.4%	8.6%	14.8%	28.6%	24.0%	10.2%	100.0%
前年	4	31	22	41	72	73	32	275
前年比	100.0%	19.4%	27.3%	17.1%	29.2%	6.8%	3.1%	18.2%
保健衛生業	2	33	44	38	63	79	38	297
割合	0.7%	11.1%	14.8%	12.8%	21.2%	26.6%	12.8%	100.0%
前年	3	25	29	64	88	75	31	315
前年比	-33.3%	32.0%	51.7%	-40.6%	-28.4%	5.3%	22.6%	-5.7%
社会福祉	2	23	33	28	42	51	30	209
割合	1.0%	11.0%	15.8%	13.4%	20.1%	24.4%	14.4%	100.0%
前年	3	15	22	48	67	53	26	234
前年比	-33.3%	53.3%	50.0%	-41.7%	-37.3%	-3.8%	15.4%	-10.7%
接客娯楽業	10	19	19	23	32	34	29	166
割合	6.0%	11.4%	11.4%	13.9%	19.3%	20.5%	17.5%	100.0%
前年	18	30	15	22	32	42	28	187
前年比	-44.4%	-36.7%	26.7%	4.5%	0.0%	-19.0%	3.6%	-11.2%
飲食店	10	9	12	11	12	11	3	68
割合	14.7%	13.2%	17.6%	16.2%	17.6%	16.2%	4.4%	100.0%
前年	16	20	10	14	12	16	14	102
前年比	-37.5%	-55.0%	20.0%	-21.4%	0.0%	-31.3%	-78.6%	-33.3%

5 経験年数別の状況

(1) 全産業

	1年以内	1年超 3年以内	3年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超 30年以内	30年超	合計
全産業	787	397	223	389	621	135	2,552
(内死亡)	(4)	(2)		(4)	(4)	(2)	(16)
割合	30.8%	15.6%	8.7%	15.2%	24.3%	5.3%	100.0%
前年	817	416	269	440	592	112	2,646
増減数	-30	-19	-46	-51	29	23	-94
前年比	-3.7%	-4.6%	-17.1%	-11.6%	4.9%	20.5%	-3.6%



(2)死傷者数が多い業種

	1年以内	1年超 3年以内	3年超 5年以内	5年超 10年以内	10年超 30年以内	30年超	合計
製造業	246	132	58	119	154	36	745
割合	33.0%	17.7%	7.8%	16.0%	20.7%	4.8%	100.0%
前年	284	138	67	114	154	31	788
前年比	-13.4%	-4.3%	-13.4%	4.4%	0.0%	16.1%	-5.5%
食料品	83	36	21	33	51	6	230
割合	36.1%	15.7%	9.1%	14.3%	22.2%	2.6%	100.0%
前年	83	50	27	32	53	5	250
前年比	0.0%	-28.0%	-22.2%	3.1%	-3.8%	20.0%	-8.0%
建設業	46	26	23	30	56	21	202
割合	22.8%	12.9%	11.4%	14.9%	27.7%	10.4%	100.0%
前年	41	30	17	31	69	17	205
前年比	12.2%	-13.3%	35.3%	-3.2%	-18.8%	23.5%	-1.5%
建築業	26	16	14	18	24	10	108
割合	24.1%	14.8%	13.0%	16.7%	22.2%	9.3%	100.0%
前年	23	18	9	18	37	13	118
前年比	13.0%	-11.1%	55.6%	0.0%	-35.1%	-23.1%	-8.5%
運輸交通業	86	47	21	45	104	17	320
割合	26.9%	14.7%	6.6%	14.1%	32.5%	5.3%	100.0%
前年	87	49	49	69	88	16	358
前年比	-1.1%	-4.1%	-57.1%	-34.8%	18.2%	6.3%	-10.6%
道路貨物	81	44	21	42	99	16	303
割合	26.7%	14.5%	6.9%	13.9%	32.7%	5.3%	100.0%
前年	81	48	48	66	84	16	343
前年比	0.0%	-8.3%	-56.3%	-36.4%	17.9%	0.0%	-11.7%
商業	141	56	33	65	108	20	423
割合	33.3%	13.2%	7.8%	15.4%	25.5%	4.7%	100.0%
前年	98	51	45	58	89	12	353
前年比	43.9%	9.8%	-26.7%	12.1%	21.3%	66.7%	19.8%
小売業	113	43	28	45	86	10	325
割合	34.8%	13.2%	8.6%	13.8%	26.5%	3.1%	100.0%
前年	78	35	33	46	75	8	275
前年比	44.9%	22.9%	-15.2%	-2.2%	14.7%	25.0%	18.2%
保健衛生業	87	38	35	54	70	13	297
割合	29.3%	12.8%	11.8%	18.2%	23.6%	4.4%	100.0%
前年	91	38	32	63	77	14	315
前年比	-4.4%	0.0%	9.4%	-14.3%	-9.1%	-7.1%	-5.7%
社会福祉	75	27	26	34	46	1	209
割合	35.9%	12.9%	12.4%	16.3%	22.0%	0.5%	100.0%
前年	73	32	23	44	56	6	234
前年比	2.7%	-15.6%	13.0%	-22.7%	-17.9%	-83.3%	-10.7%
接客娯楽業	61	32	10	28	28	7	166
割合	36.7%	19.3%	6.0%	16.9%	16.9%	4.2%	100.0%
前年	76	27	16	28	34	6	187
前年比	-19.7%	18.5%	-37.5%	0.0%	-17.6%	16.7%	-11.2%
飲食店	32	11	3	14	4	4	68
割合	47.1%	16.2%	4.4%	20.6%	5.9%	5.9%	100.0%
前年	45	13	11	18	13	2	102
前年比	-28.9%	-15.4%	-72.7%	-22.2%	-69.2%	100.0%	-33.3%

令和 7 年 労働者死傷病報告受理件数表

令和 8 年 3 月 末 確 定
群 馬 労 働 局

業種別	署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製 造 業		2	2						4	1	3
		115	283	41	238	23	40	5	745	788	-43
	食料品製造業	43	118	8	46	7	8		230	250	-20
建 設 業		53	71	12	38	9	10	9	202	205	-3
	木造家屋等 建築工事業	3	13	1	3		1	2	23	34	-11
運 輸 交 通 業		41	1		1				2	6	-4
			155	15	86	10	10	3	320	358	-38
	道路貨物運送業	35	1						1	6	-5
			151	15	80	9	10	3	303	343	-40
林 業		1				1			1		1
			2	4		2	1		10	14	-4
小 売 業		75	141	28	47	22	9	3	325	275	50
	社会福祉施設	56	78	26	34	8	7		209	234	-25
接 客 娛 楽 業		26	47	4	27	26	1	1	2	1	1
							5	31	166	187	-21
	飲 食 店	19	22	3	17	3	2	2	68	102	-34
上記以外の事業		3	2	1		1			7	1	6
		130	245	34	93	27	25	21	575	585	-10
	清掃・と畜業	1		1					2	1	1
		25	57	11	13	5	2	4	117	109	8
計		5	5	1	1	3	1		16	16	
		497	1022	164	563	127	107	72	2,552	2,646	-94
前 年 同 期		3	2	1	4	2	3	1	16		
		529	1027	166	609	125	99	91	2,646		
増 減		2	3		-3	1	-2	-1			
		-32	-5	-2	-46	2	8	-19	-94		

災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減	
事 故 の 型 別	墜落・転落	1	1	1		1	1	5	7	-2	
		55	152	27	72	21	16	359	398	-39	
	転 倒	168	273	48	134	38	30	717	666	51	
	はさまれ・ 巻き込まれ	56	1	18	81	14	13	1	1	-9	
			110					295	304		
	切れ・こすれ	24	66	7	36	10	4	1	148	165	-17
	動作の反動・ 無理な動作	59	173	30	98	16	16	11	403	455	-52
起 因 物 別	建設機械等	4	1					1	1		
			15		4	1	1	2	27	16	11
	食品加工用機械	2	23		4		1	1	31	37	-6
	ト ラ ッ ク	1	1			1		3	5	-2	
		28	68	12	38	4	3	3	156	216	-60
外国人の災害	28	109	10	102	11	5	3		268	242	26
高年齢者の災害	1	1	1	1	2	1		7	4	3	
	147	287	58	132	50	37	34	745	771	-26	

注 1 この表は、死亡及び休業 4 日以上労働者死傷病報告を集計しています。

注 2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。

注 3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。高年齢者とは 60 歳以上の高年齢労働者を言います。

注 4 新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの。

令和7年 死亡災害事例

令和8年3月末確定
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	1月 11時頃 30～49人	60歳代 警備員	市道沿いの工事現場で交通誘導を行っていたところ、走行してきた軽乗用車にはねられた。	警備業	交通事故	乗用車・バス・バイク
2	2月 13時頃 1～9人	40歳代 作業員	かかり木となっていた胸高直径35cm、樹高18mの檜の木を処理するため、かかっている桜の木をチェーンソーで伐倒したところ、檜の木が予定とは異なった方向に倒れ、下敷きになった。	木材伐出業	激突され	立木等
3	4月 8時頃 100～299人	70歳代 作業員	スキー場でコースを点検中(最大傾斜32°)の被災者が、コース内をうつ伏せに倒れて滑り落ちている様子をリフト係員が発見し、平地で止まった被災者に声をかけるも意識がなかった。	その他の接客娯楽業	2メートル以上からの墜落・転落	その他の環境等
4	5月 16時頃 30～49人	40歳代 作業員	工場内の中天井に上がり移動していたところ、明かり取りのウレタンボードを踏み抜き、6.7m下のコンクリート床に墜落した。	その他の金属製品製造業	2メートル以上からの墜落・転落	その他の仮設物、建築物、構築物等
5	7月 21時頃 1～9人	60歳代 運転手	随伴車両で乗客の車を追走中、道路わきの電柱に激突した。	その他の道路旅客運送業	交通事故	乗用車、バス、バイク
6	7月 8時頃 10～49人	40歳代 作業員	化学工場の設備の点検のため、設備の屋上(高さ26.0m)にて作業中に墜落した。	ガス業	2メートル以上からの墜落・転落	作業床、歩み板
7	7月 16時頃 10～49人	40歳代 作業員	事業場の屋外にて清掃作業を行っていたところ、熱中症を発症して意識を失い病院へ救急搬送された。その後、病院で療養していたが数か月後に容態が急変した。	産業廃棄物処理業	高温・低温の物との接触	高温・低温環境
8	8月 4時頃 300～499人	20歳代 作業員	化学物質の製造ラインにおいて、当該物質を加圧する加圧槽の配管が何らかの原因により爆発し、巻き込まれた労働者が熱傷性ショックで死亡した。	無機・有機化学工業製品製造業	爆発	圧力容器
9	9月 20時頃 50～99人	50歳代 警備員	高速自動車道の道路補修現場において、工事車両の誘導を行っていたところ、後進してきたダンプトラックに激突された	警備業	交通事故	トラック
10	9月 17時頃 10～49人	40歳代 作業員	事業場敷地内の砕砂ストックヤードにおいて、下部に設置されたホッパーに砂を落とす作業を行っていたところ、堆積された砂を滑り落ち、砂に埋もれた。	セメント・同製品製造業	崩壊・倒壊	石、砂、砂利

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢 職種	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
11	9月 15時頃 1～9人	70歳代 作業員	碎石場にて除草作業中、被災者の姿が見えないため探したところ、約21m下の崖下に倒れているのを発見した。	その他の 廃棄物処理業	2メートル 以上からの 墜落・転落	地山、岩石
12	9月 10時頃 10～49人	50歳代 作業者	事業場敷地内の鶏糞処理作業場において、トラックを運転中に壁に激突させたため、確認のためにトラックから降りたところ、後進してきたホイールローダに激突された。	畜産業	激突され	整地・運 搬・積み 用機械
13	10月 15時頃 10～49人	60歳代 作業員	ゴルフ場内のカート通路において、立木の枝切作業を行うため三脚脚立（高さ3.47m）を使用して作業していたところ、何らかの原因によりバランスを崩し、地面に墜落した。	ゴルフ場	2メートル 以上からの 墜落・転落	脚立
14	11月 10時頃 10～49人	60歳代 作業員	牛舎小屋内（複数の牛のいる）で、給餌や清掃中の被災者が倒れているのを別の労働者が発見した。	畜産業	激突され	その他の起 因物
15	11月 15時頃 1～9人	40歳代 作業員	事業場内において、4tトラックの修理作業中、同トラックのタイヤに巻き込まれている被災者を発見した。	特定貨物自動車 運送業	はさまれ、 巻き込まれ	トラック
16	12月 15時頃 1～9人	70歳代 作業員	トラックを運転していたところ、停止していた前方の大型トラックに追突した。	その他の卸売業	交通事故	トラック

令和8年 労働者死傷病報告受理件数表

資料6

令和8年3月末現在
群馬労働局

業種別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
製 造 業	20	50	14	47	3	8	2	144	134	10
食料品製造業	5	25	1	10	1	3		45	42	3
建 設 業	5	13	4	4	3	1		30	32	-2
木造家屋等 建築工事業		2						2	2	0
運 輸 交 通 業	9	35	2	22	2	1		71	63	8
道路貨物運送業	7	35	2	21	2	1		68	59	9
林 業	2		2		1		1	6	2	4
小 売 業	10	19	4	6	1	3		43	55	-12
社会福祉施設	14	15	5	4	5	3		46	25	21
接客娯楽業	5	7	2	2	6	5	6	33	25	8
飲食店	3	4		1				8	8	0
上記以外の事業	20	49	10	17	7	5	2	110	98	12
清掃・と畜業	2	11		6		1		20	16	4
計	85	188	43	102	28	26	11	483	434	49
前年同期	80	185	22	88	33	14	12	434		
増 減	5	3	21	14	-5	12	-1	49		

災害の種類別

災害の種類別・署別	高崎	前橋	桐生	太田	沼田	藤岡	中之条	群馬局計	前年同期	増減
事故の 型別	墜落・転落	11	33	12	17	4	2	81	65	16
	転 倒	28	59	13	26	12	6	149	143	6
	はさまれ・ 巻き込まれ	10	22	7	14	1	5	60	55	5
	切れ・こすれ	5	8	2	3		1	19	25	-6
	動作の反動・ 無理な動作	14	24	5	14	2	5	64	49	15
起因物 別	建設機械等		1					1	7	-6
	食品加工用機械		7		4		1	12		12
	トラック	7	17	2	12	3	1	43	33	10
外国人の災害	5	14		14	4	1	1	39	40	-1
高齢者の災害	24	64	17	21	13	13	3	155	147	8

注1 この表は、死亡及び休業4日以上労働者死傷病報告を集計しています。

2 各項目の下欄は死傷者数合計、上欄は死亡者数で下欄の数の内数です。

3 下の表は災害の種類別で、特に項目を設定して集計しています。高齢者とは60歳以上の高齢労働者を言います。

4 新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの。

令和 8 年 死亡災害事例

令和 8 年 3 月末現在
群馬労働局

番号	発生月 発生時間帯 事業場規模	年齢種 職	災害のあらまし	業種	事故の型別	起因物別
1	1 月 8 時頃 1～9人	70歳代 作業員	倉庫増築工事現場にて、ホッパーをダンプトラック荷台から降ろすため、ホッパーを吊り上げるドラグ・ショベルを準備していたところ、後退してきたダンプトラックとドラグ・ショベルのバケットとの間に頭部を挟まれた。	その他の 建築工事業	はさまれ、 巻き込まれ	トラック
2	1 月 2 時頃 10～49人	60歳代 運転手	交差点にて、直進中のトラックに赤信号中に進入したトラックが衝突した。	一般貨物自動車 運送業	交通事故	トラック

注)記述内容は上記期日時点の情報を取りまとめたものであり、今後、変更になる可能性があります。

第14次労働災害防止計画に基づく 群馬労働局推進計画の骨子

令和5年(2023年)4月1日▶令和10年(2028年)3月31日

資料 8

計画のねらい

誰もが安全で健康に働くためには、労働者の安全衛生対策の責務を負う事業者や注文者のほか、労働者等の関係者が安全衛生対策について、自身の責任を認識し、真摯に取り組むことが重要です。

また「費用としての人件費から、資産としての人的投資」への意識変革の促進は、事業者の経営戦略の観点からもその重要性が増してきており、労働者の安全衛生対策が人材確保の観点からもプラスになることが知られ始めています。

こうした中で、労働者の安全衛生対策に積極的に取り組む事業者が社会的に評価される環境を醸成し、安全と健康の確保の更なる促進を図ることが望まれます。

8つの重点対策

5 個人事業者等に対する
安全衛生対策の推進

6 業種別の
労働災害防止対策の
推進

陸上貨物運送事業／建設業／
製造業／林業

7 労働者の
健康確保対策の推進

メンタルヘルス／過重労働／産業保健活動

8 化学物質等による
健康障害防止対策の
推進

化学物質／石綿／粉じん／熱中症／
騒音／電離放射線

1 自発的に
安全衛生対策に
取り組むための
意識啓発

2 労働者（中高年齢の
女性を中心に）の
作業行動に起因する
労働災害防止対策の
推進

3 高年齢労働者の
労働災害防止対策の
推進

4 多様な働き方への
対応や
外国人労働者等の
労働災害防止対策の
推進

① 自発的に安全衛生対策に取り組むための意識啓発

安全衛生分野にも企業の社会的な認知度や評価の向上が期待できる制度があります。

ポイント

- 国等が行う各種の支援策や労働安全衛生コンサルタント等の専門家を活用しながら、自主的な安全衛生活動を推進しましょう
- 安全衛生活動に意欲的、積極的に取り組んでいることの証として、右の各種制度への申込みを検討しましょう

メリット

- 労働災害の発生に伴う人的・社会的・経済的な損失を回避・軽減できます
- 安全衛生水準の向上により組織が活性化され、業績の向上が期待できます
- 企業の社会的な認知度や評価が高まることで、人材の確保がしやすくなります

SAFEコンソーシアム加盟制度

増加傾向にある転倒や腰痛などの労働災害の問題を自分ごとと捉え、関係する全員で解決を図っていくため、趣旨に賛同した企業・団体等で共同体（コンソーシアム）を構成し、問題の協議や相互の取組の共有等により、安全衛生に取り組む加盟者の認知度向上などをサポートしていく仕組みです

SAFE
コンソーシアム
ポータルサイト



安全衛生優良企業公表制度

労働者の安全や健康確保対策に積極的に取り組み、高い安全衛生水準を維持している企業を認定し、企業名を公表して、社会的な認知を高めることにより、安全衛生の積極的な取組を促進するための制度です

安全衛生優良
企業公表制度
(厚生労働省HP)



健康経営優良法人認定制度

地域の健康課題に即した取組や日本健康会議が進める健康増進の取組をもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です

健康経営優良
法人認定制度
(経済産業省HP)



※健康経営は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

② 労働者（中高年齢の女性を中心に）の作業行動に起因する労働災害防止対策の推進

③ 高年齢労働者の労働災害防止対策の推進

作業行動に伴う**転倒**や**腰痛災害**は、中高年齢の女性をはじめとして高年齢労働者で高い発生率となっています。

ポイント

- 雇用形態を問わず安全衛生教育を実施しましょう
- ハード・ソフト両面から対策に取り組みましょう
- エイジフレンドリーガイドラインを活用しましょう
- 介護職場でのノーリフトケアを進めましょう

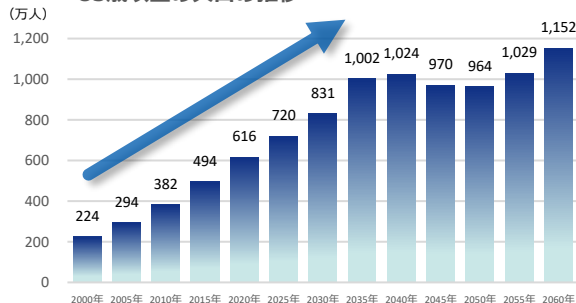
エイジ
フレンドリー
ガイドライン
(PDF)



保健衛生業
における
腰痛の予防
(厚生労働省HP)

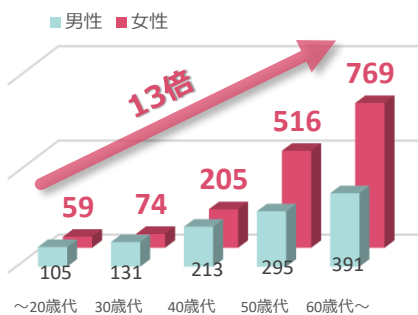


85歳以上の人口の推移

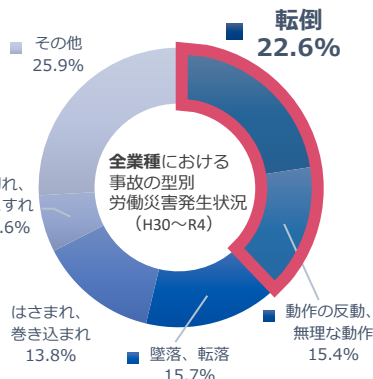
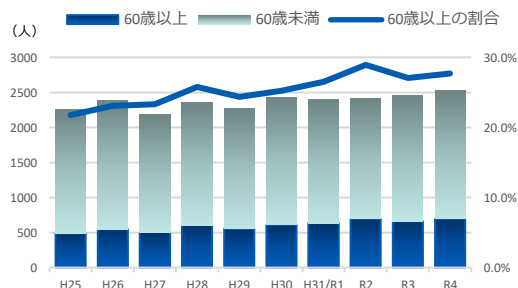


資料：2025(令和7)年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(2018年推計)」の出生中位・死亡中位結果、2020(令和2)年以前は、総務省統計局「国勢調査」より厚生労働省老健局総務課において作成

男女別転倒災害発生状況(H30～R4)



労働災害による死者数 全年齢に占める60歳以上の占める割合



④多様な働き方への対応や 外国人労働者等の労働災害防止対策の推進

⑤個人事業者等に対する安全衛生対策の推進

KEYWORDS

副業・兼業 ガイドライン



<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000962665.pdf>

テレワーク ガイドライン



<https://www.mhlw.go.jp/content/000759469.pdf>

個人事業者等の 安全衛生対策に ついて



作業を請け負わせる一人親方等や、同じ場所で作業を行う労働者以外の人に対しても、労働者と同等の保障が図られるよう、新たに一定の措置を実施することが、事業者者に義務付けられます

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000186714.html>



外国人労働者に向けた 安全衛生教育・マニュアルの活用



<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000186714.html>



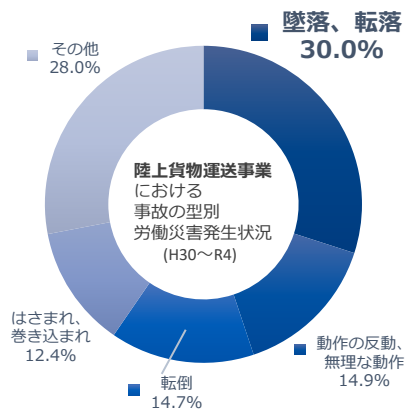
⑥業種別の労働災害防止対策の推進

陸上貨物運送事業



ポイント

- トラックからの墜落・転落災害をなくしましょう
- 荷役作業安全対策ガイドラインを活用しましょう
- 腰痛防止対策をすすめましょう



陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン(PDF)

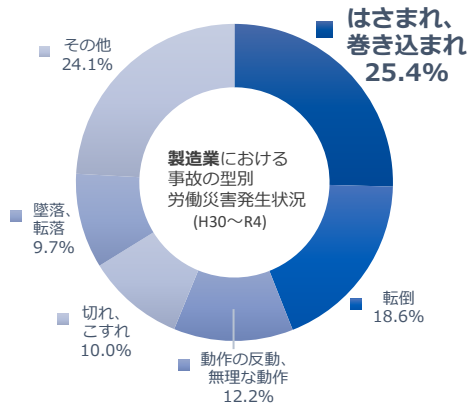


製造業



ポイント

- はさまれ・巻き込まれ災害をなくしましょう
- 機械を安全に使うためにリスクアセスメントを実施しましょう
- 危険感受性を高めるためVRを活用しましょう



リスクアセスメント(職場のあんぜんサイト)



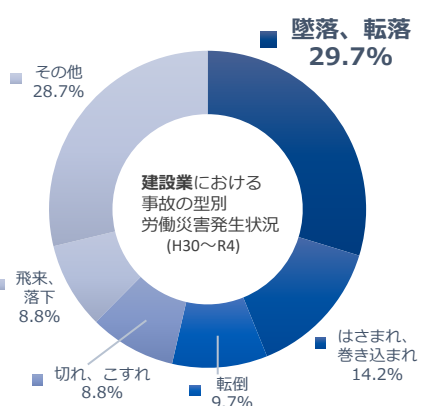
VR教材(YouTube)



建設業

ポイント

- 墜落・転落による死傷災害をなくしましょう
- 脚立・はしごは安全に使いましょう
- リスクアセスメントを実施しましょう



リスクアセスメント(職場のあんぜんサイト)



林業

ポイント

- 死亡災害を撲滅しましょう
- 伐木作業の安全ガイドラインを活用しましょう
- 緊急連絡体制を整備しましょう
- 通信機器の配備・整備をすすめましょう



チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン(PDF)



⑦ 労働者の健康確保対策の推進

メンタルヘルス対策

ポイント

- ストレスチェックを実施し、結果から集団分析を行いましょう
- 集団分析を活用して、職場環境を改善しましょう
- 職場のハラスメント防止対策に取り組みましょう

職場におけるメンタルヘルス対策・過重労働対策等
(厚生労働省HP)



働く人のメンタルヘルスポータルサイト
「こころの耳」



過重労働対策

ポイント

- 時間外労働・休日労働を削減しましょう
- 年次有給休暇の取得促進を図りましょう
- 勤務間インターバルの導入に努めましょう



ハラスメント対策の総合情報サイト
「あかるい職場応援団」



過重労働対策
(職場のあんぜんサイト)



産業保健活動の推進

ポイント

- 医師等による面接指導や、相談支援を充実しましょう
- 産業保健スタッフ（産業医・衛生管理者等）を確保しましょう
- 治療と仕事の両立の相談支援を受けられる環境を整備しましょう

治療しながら働く人を応援する情報ポータルサイト
「治療と仕事の両立支援ナビ」



⑧ 化学物質等による健康障害防止対策の推進

化学物質・熱中症・騒音等

ポイント

- 化学物質を製造したら、譲渡提供時には危険性・有害性の情報を通知（ラベル表示・SDSの交付）しましょう
*SDSには、必要な保護具の種類も含め「想定される用途及び当該用途における使用上の注意」も記載
- 化学物質を取り扱うときは、SDS等に基づきリスクアセスメントを実施しましょう
- 暑さ指数を活用しましょう
- 騒音障害防止ガイドラインを活用しましょう



職場における化学物質対策について(厚生労働省HP)



STOP! 熱中症
クールワーク
キャンペーン
(厚生労働省HP)



騒音障害防止
ガイドライン
(PDF)



石綿（アスベスト）・粉じん

2030年頃に国内での石綿使用建築物の解体がピークを迎えるとされている中、建築物等の解体・改修工事において、更なる石綿ばく露防止対策等の確保・推進が必要です。

ポイント

- 建築物石綿含有建材調査者講習修了者等による事前調査※を実施しましょう
※ 令和5年10月施行（工作物の事前調査は令和8年1月施行）
- 粉じんにばく露しないため呼吸用保護具を適切に選択し、使用を徹底しましょう

第10次粉じん障害防止総合対策(PDF)



厚生労働省

群馬労働局

労働基準部 健康安全課

〒371-8567

群馬県前橋市大手町2-3-1

Tel 027-896-4736

<https://jsite.mhlw.go.jp/gunma-roudoukyoku/home.html>

